

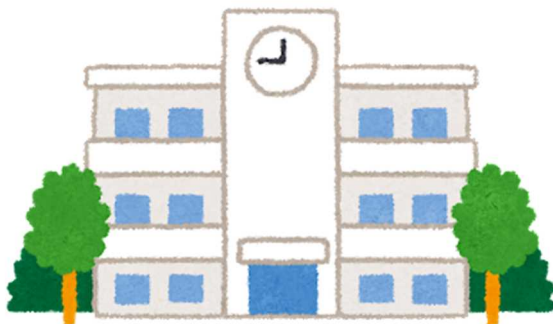
令和5年度
学校評価アンケート結果
(令和6年1月実施)



教職員アンケート

生徒アンケート

保護者アンケート



鹿児島県立鹿児島南高等学校

目 次

	ページ
令和5年度学校評価アンケートについて	1
教職員アンケート調査の分析と今後の対策	2
生徒アンケート調査の分析と今後の対策	3
学科別・学年別調査結果	4
結果分析と今後の対策	5～6
保護者アンケート調査の分析と今後の対策	7

令和5年度学校評価アンケートについて

1 目的

学校経営方針や教育活動全般に対する意識やニーズ等を把握し、学校運営の改善方向を探るとともに、その成果を把握し、鹿児島南高等学校の教育活動を更に充実・発展させる目的でアンケート調査を実施する。

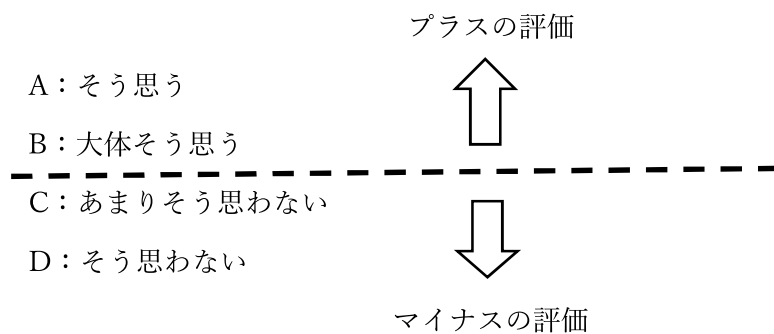
2 実施日

令和6年1月9日(火)～19日(金)

3 回収サンプル数

- (1) 教職員： 64 人
- (2) 生 徒： 668 人
- (3) 保護者： 722 人

4 評価基準



1 教職員アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価の観点（具体的な評価項目）	プラスの評価	A	B	C	D	前年度プラスの評価
			そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1	担当する校務を工夫・改善し、遂行できた。	95%	23	38	3	0	93%
			36%	59%	5%	0%	
2	S H Rや終礼など機会あるごとに、生きていることや学ぶことの意義など人生を豊かにする話を生徒にしている。	90%	23	34	6	0	89%
			37%	54%	10%	0%	
3	学習と部活動が両立できるように学習時間の確保を配慮し、的確な学習指導を行っている。	95%	24	36	3	0	96%
			38%	57%	5%	0%	
4	生徒に将来の目標を掲げさせ、その実現に向け努力させている。	94%	23	36	4	0	96%
			37%	57%	6%	0%	
5	保護者や生徒に、進路に関する必要な情報をきちんと提供している。	90%	18	39	6	0	93%
			29%	62%	10%	0%	
6	分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本をしっかりと定着させる指導を行っている。	98%	33	29	1	0	100%
			52%	46%	2%	0%	
7	課題の量は適切であり、きちんと提出させている。	98%	31	30	0	1	94%
			50%	48%	0%	2%	
8	諸機会を通じて生徒の情報等を収集し、指導に生かしている。	95%	26	35	3	0	98%
			41%	55%	5%	0%	
9	自らの教科指導力を高めるための教材研究や指導方法改善に取り組んでいる。	98%	26	37	1	0	98%
			41%	58%	2%	0%	
10	頭髪や服装、挨拶などの礼儀指導や清掃指導に日々取り組んでいる。	98%	29	34	1	0	100%
			45%	53%	2%	0%	
11	いじめや不登校等について十分注意を払い、的確に対応している。	97%	34	28	2	0	100%
			53%	44%	3%	0%	
12	休み時間や放課後など、生徒がいつでも気軽に悩みが相談できるような関係づくりに努めている。	95%	22	39	3	0	98%
			34%	61%	5%	0%	
13	自分の教師力を高めるための自己啓発に努めている。	95%	23	38	3	0	100%
			36%	59%	5%	0%	

(2) 結果分析と今後の対策

ア 全ての項目でプラスの評価が9割を超えており高い。しかし、項目13の評価については、昨年度が100%であったこともあり、最も下げ幅が大きかった。今年度は全国高等学校総合文化祭、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が鹿児島で開催され、役員として多くの時間を費やしたことから、コロナウイルス感染症の5類以降により行事や部活動の大会等が以前の形で実施するようになったことで、自己啓発に割く時間が減ったためと考える。

イ 項目7の評価が昨年度よりも高くなっている。今年度から朝課外が廃止になり演習時間の不足を課題の量と提出指導の徹底で補ったためと考える。一方で、保護者の特記事項の記載には、部活動と課題によって睡眠時間が足りていないという意見が見られるので、文武両道の実現のためにも部活動の時間配分や課題の出し方などはさらに改善を図る必要がある。

ウ 項目2、5の評価が最も低い。出席確認や連絡を効率よく行い、進路指導や生徒指導の便り等を活用しながら、時期に応じた話をするよう共通理解を図る必要がある。また、進路に関する情報に関しては、学習指導要領の改訂による共通テストの変更や多様な入試形態を確実に把握し、発信していかなければならない。

2 生徒アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 全体調査結果

I (学校や授業に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	前年度プラスの評価
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	87%	220 33%	362 54%	75 11%	11 2%	83%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	92%	227 34%	389 58%	48 7%	4 1%	89%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	89%	263 39%	334 50%	62 9%	9 1%	88%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	97%	429 64%	218 33%	16 2%	5 1%	90%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	83%	192 29%	360 54%	100 15%	15 2%	84%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	82%	200 30%	348 52%	103 15%	16 2%	79%
7	校則や学校のきまりは適切である。	50%	82 12%	254 38%	211 32%	121 18%	48%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	90%	238 36%	363 54%	59 9%	8 1%	91%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	86%	170 25%	402 60%	79 12%	17 3%	86%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	81%	192 29%	350 52%	100 15%	26 4%	81%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	90%	195 29%	406 61%	60 9%	7 1%	90%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	95%	314 47%	323 48%	30 4%	1 0%	92%
13	校内の施設や環境が整備されている。	98%	404 60%	249 37%	11 2%	4 1%	97%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	78%	177 27%	344 52%	120 18%	25 4%	74%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	95%	373 56%	257 39%	23 3%	11 2%	94%

II (自分自身に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	プラスの評価
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	93%	267 40%	352 53%	40 6%	9 1%	87%
2	授業は予習を十分に受けている。	51%	86 13%	257 38%	242 36%	83 12%	54%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	93%	257 38%	361 54%	39 6%	11 2%	95%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	82%	188 28%	357 53%	108 16%	15 2%	87%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	62%	119 18%	292 44%	214 32%	42 6%	64%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	89%	364 55%	229 34%	60 9%	14 2%	94%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	81%	261 39%	277 42%	85 13%	38 6%	83%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	78%	238 36%	282 42%	113 17%	34 5%	82%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	89%	275 41%	317 48%	52 8%	23 3%	94%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	99%	458 69%	199 30%	5 1%	5 1%	99%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	63%	160 24%	259 39%	179 27%	69 10%	51%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	94%	342 51%	289 43%	29 4%	8 1%	94%

(2) 学科別・学年別調査結果

I (学校や授業に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	89%	84%	90%	87%	84%	90%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	91%	92%	98%	91%	88%	97%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	85%	94%	95%	87%	85%	96%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	97%	97%	96%	96%	97%	97%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	84%	79%	87%	81%	81%	87%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	85%	79%	81%	81%	83%	84%
7	校則や学校のきまりは適切である。	48%	50%	60%	46%	49%	57%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	89%	93%	85%	86%	90%	94%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	84%	87%	87%	84%	81%	91%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	80%	79%	90%	79%	79%	86%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	89%	92%	89%	86%	90%	94%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	94%	96%	99%	94%	95%	97%
13	校内の施設や環境が整備されている。	97%	98%	99%	98%	98%	97%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	74%	81%	87%	73%	81%	82%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	93%	96%	99%	94%	96%	95%

II (自分自身に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	92%	93%	96%	91%	93%	94%
2	授業は予習を十分に受けている。	57%	48%	35%	45%	49%	61%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	91%	95%	92%	92%	93%	93%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	82%	79%	87%	76%	83%	87%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	66%	59%	52%	52%	62%	73%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	83%	94%	98%	85%	92%	91%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	74%	89%	89%	79%	81%	85%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	77%	76%	87%	66%	75%	95%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	85%	92%	94%	84%	92%	91%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	98%	99%	100%	99%	98%	99%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	64%	61%	64%	58%	72%	61%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	96%	92%	95%	93%	95%	95%

(3) 結果分析と今後の対策

ア 全体

- (ア) 「校則や学校のきまり」についての評価が昨年度に引き続き、低い。昨今、校則の見直しについての報道が多くなり、校則の見直しが必要であるという考え方が強くなってきているためではないかと考えられる。まずは、生徒と職員が一緒になって、校則の重要性和指導のあり方、基準について考えていく必要がある。また、就職・入試担当者、マナー講演会等による啓発の工夫を行っていきたい。
- (イ) 「交通安全」については今年度ヘルメット着用を義務化したこともあり評価を高めた。
- (ウ) 「部活動と学習の両立」、「学習課題の量」については、今年度も低い評価であった。教職員の自己評価では適切であると考えているところから、生徒と教職員間のギャップが大きいことが分かる。「分かりやすい授業」「授業の進み具合」についても大きく下げていることは朝課外の廃止による影響も考えられ、朝課外がない状況における授業の在り方を再検討しなければならない。
- (エ) 「定期考査等の対策」「宅習時間の確保」「課題や提出物」についての評価が昨年度は高まっていたが今年度は軒並み下がってしまった。生徒の自主的な学習を支援していきたい。
- (オ) 「授業の予習」の項目について、昨年度に引き続き低い評価であった。反転学習が注目されているので研究をするとともに、Classi等を活用して予習に取り組む方法などを検討していきたい。
- (カ) 「ボランティア活動や地域行事」については、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことにより、上昇をしているものの他の項目に比べると低い。「学校行事等」も同様の理由で評価が高まっている。これからも、多様な体験活動への積極的参加を呼びかけていきたい。
- (キ) 「進路目標」については評価を下げており、明確な進路目標が定まっていないことが学習に関する評価項目の低さにも影響していると考え。進路について考えるきっかけとなる活動を段階的に設けて、早期に進路目標を決められるようにしていく必要がある。
- (ク) 「鹿南高生徒としての誇り」についての評価を下けているのは、質問内容に「服装・容儀」という文言があるため校則を想記させたためと考える。伝統等により自然に本校生徒としての誇りが醸成されることを期待するのではなく、醸成するための取組を行事・学校生活に意図的に設ける必要がある。

イ 学科別

- (ア) 体育科は「進路」に関する評価が高く、教職員の指導と情報提供のもと競技力を生かした進路実現のために迷い少なく努力していることが見て取れる。一方で、「予習」「宅習時間」についての評価が低いため、授業外での学習を充実させる必要がある。
- (イ) 普通科は「部活動と勉強との両立」に関する評価が低く、普通科としての学習量と他学科の部活動生と同様の練習量・成果の達成に苦慮している。学習と部活動ともに効率化を図る手立てを検討する必要がある。

ウ 学年別

- (ア) 進路に関する評価は全般的に3学年の評価が高い傾向にある。3学年になりようやく進路を考えるようになったためと考えられ、1・2学年においても早めに進路目標を持たせ、学習意欲につなげる必要がある。
- (イ) 1年生の「予習」「宅習時間」の評価が低く、高校における学習スタイルが構築できていない。中学校に比べて科目数が増える中で予習・授業・宅習（演習）のサイクルを入学当初に身に付けるよう指導する必要がある。部活動と学習との両立に関する評価も低いため、高校生活に慣れるのに時間がかかっているのがわかる。各種オリエンテーションを通じて、円滑に中学校からの接続ができるようにするとともに、入学当初より極端に負担感を感じるような学習・練習にならないように配慮が必要な部分もあるだろう。
- (ウ) 「校則」については1学年の評価が低く、中学校までとのギャップによるものであろう。3年生は「校則」についての評価がやや高く、進路を選択する時期が近づくにつれ、校則の意義を改めて理解できているものとする。

3 保護者アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評 価 項 目	プラスの 評 価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう 思わない	D そう思わない	前年度 プラスの 評 価
1	本校が掲げる「文武両道～活力にあふれ、自己実現に向けて邁進する学校」は、目指す学校像として適切である。	92%	262 36%	404 56%	50 7%	6 1%	90%
2	学校は基礎・基本をしっかりと定着させる授業や、分かる授業に心がけている。	87%	123 17%	501 70%	92 13%	4 1%	86%
3	学校は学習指導において、一人一人に応じた個別指導に力を入れている。	66%	90 13%	381 53%	229 32%	16 2%	66%
4	学校は学力向上のために、十分な取組を行っている。	81%	129 18%	454 63%	127 18%	11 2%	83%
5	学校は就職指導や進学指導にしっかり取り組んでいる。	89%	211 30%	422 59%	71 10%	9 1%	88%
6	学校は自宅学習を十分確保するために、適切な量の課題を出している。	79%	129 18%	441 62%	131 18%	16 2%	78%
7	学校は進路に関する十分な情報を生徒や保護者に提供している。	79%	175 24%	396 55%	133 18%	15 2%	80%
8	学校は生徒指導にしっかり取り組んでおり、生徒の頭髪、服装、挨拶が良い。	91%	342 48%	309 43%	52 7%	13 2%	91%
9	学校ではいじめ・不登校等に対して、的確な対応がなされている。	87%	139 20%	480 68%	79 11%	12 2%	84%
10	学校では教育相談等、日頃から生徒をよく理解する態勢が整っている。	84%	155 22%	448 62%	98 14%	16 2%	81%
11	学校では部活動と学習の両立ができるよう、部活動の時間に配慮がなされている。	76%	149 21%	392 55%	135 19%	36 5%	73%
12	学校は交通安全や通学マナーの指導に十分取り組んでいる。	93%	234 33%	431 60%	44 6%	8 1%	90%
13	学校は様々な学校行事に取り組み、高校生活の充実を図っている。	91%	247 34%	403 56%	58 8%	9 1%	88%
14	学校は生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	92%	218 30%	447 62%	45 6%	9 1%	90%
15	学校は様々な教育活動について、情報発信や広報に取り組んでいる。	92%	230 32%	434 60%	55 8%	1 0%	90%

(2) 結果分析と今後の対策

- ア 全体的には、昨年度よりも評価が下がった項目は2項目のみであり、保護者からの評価は高まっている。昨年度から最も低下したのは「4 学力向上の取組」、そして最も評価の割合が低かったのは「3 個別指導に力を入れている」であり、学習指導に関する項目であった。要因として朝課外の廃止が考えられるが、特記事項への記入に朝課外についての記入はほとんど見られない。中教審の答申において「指導の個別化」と「学習の個性化」が示され3年が経過したが、本校においてもその対応を急ぐ必要があり、組織的な学力向上策を検討しなければならない。
- イ 「1 文武両道～学校像として適切」の評価が高い一方で、「11 部活動の時間」の評価は低く、特記事項への記述でも厳しい意見が多くある。本当の意味での文武両道、保護者や地域からの理解を得られる部活動であるように学習とのバランスを考えた活動をしなければならない。
- ウ 「8 生徒の頭髪、服装、挨拶がよい」「12 交通安全指導」という項目が、高い評価を得た。しかし、一方では校則が厳しすぎるのではないかという意見も寄せられている。それらを精選し、検討していく必要がある。